

## 二次元移動方向に基づく空中手書き文字認識



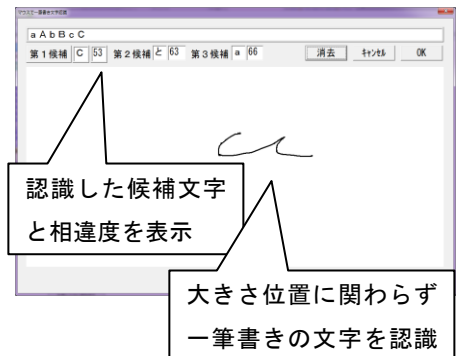
**Keyword** ヒューマンインタフェース、クラウド、組込みシステム、パターン認識、使い勝手

連絡先 電気電子工学科 教授

西田 好宏 電話 0776-29-2747

E-mail nishida@fukui-ut.ac.jp

キーボードに代わってタッチパネル入力が普及しています。その次の入力方法として、空中手書き文字入力を研究しています。これにより、さらに色々なシーンで文字を入力、検索やコミュニケーションに利用できます。



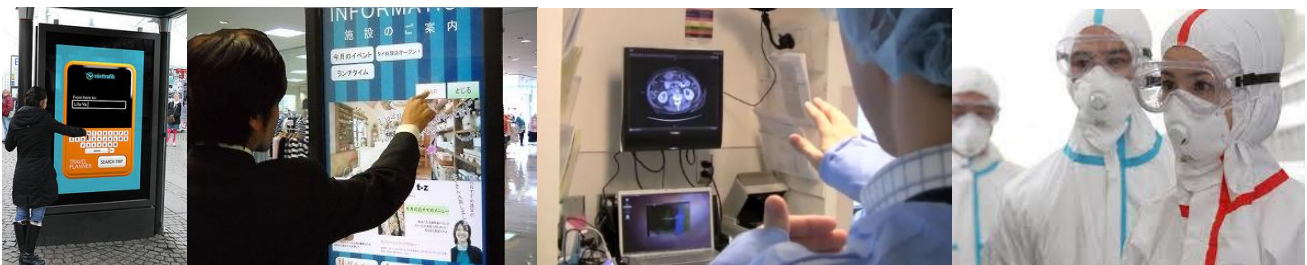
開発した一筆連続書き文字認識ソフトウェア（認識エンジン）

ユビキタスコンピューティングやクラウドサービスの普及で、いつでもどこでも、検索、コミュニケーション、つぶやき、データ保存等が可能になりました。その時に必要になるのはテキストデータです。

そこで、いつでもどこでも、片手入力やながら入力でも、簡単にテキストデータを入力できるように、空中に描いた文字を認識する空中手書き文字入力を検討しています。

筆跡の二次元的な相対的移動方向のみに着目し、連続ストローク（一筆書）入力で、ひらがな、数字に加え、アルファベットも入力モード変更なしで認識可能なソフトウェア（認識エンジン）を開発しました。

応用例として、ナビの目的地入力、表示機能分離型携帯端末、デジタルサイネージ、キーボードやタッチパネルが使えない環境や作業現場での文字入力などを考えています。



### 《 共同研究の相手となる業界等 》

電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、その他の製造業

### 《 参考文献 》

西田好宏、小倉一孝、三浦浩一、松田憲幸、瀧寛和、安部憲広、“移動方向情報のみを利用した空中手書き文字認識”、ヒューマンインタフェース学会誌、Vol. 12、No. 3、pp. 289-296、2010年9月